

取組	活動項目	活動内容	実施状況・改定での対応	具体的取組（R4改定）	実施状況（R05年度）		実施状況（R06年度）			
環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組										
A	先導整備地区における森づくり	ア 森づくりの実践	3	■フェニックス事業用地の森づくり	○ 実施済・継続	[継続] 企業誘致の実施、太陽光発電施設による暫定的利用	○実施（継続）	・フェニックス事業用地における暫定利用を継続実施。 ・大阪・関西万博開催前後の活用に関するサウンディングを実施(R6.3実施済)。	○実施（継続）	・フェニックス事業用地における暫定利用を継続実施。 ・大阪・関西万博に向け整備（P＆R駐車場、空飛ぶクルマ・デモフライト用暫定ポート、物販イベント施設）
B	みどり(森)の多面的機能を活用したまちづくりの実践	エ 身近なみどりの保全・創出を通じた良好なまちなみ景観と地域コミュニティづくり	9	■学校でのみどりづくり	◎ 新規	[新規] 大阪湾バイエリア等尼崎市外の小学生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施	○実施（継続）	・「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方検討」において、今後の方向性等について検討中。 ・西宮市の育成センターの児童が中央緑地における環境学習に参加。	○実施（継続）	・「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」をとりまとめ。 ・「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」の開催にあたり、尼崎市、西宮市、芦屋市の教育委員会向けにPRを実施。当日は、西宮市の育成センターの児童が参加。
			10	■民有地(工場・住宅地)のみどり豊かなまちづくり	◎ 新規	[新規] 工場敷地等を活用したすき間農園の推進	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。
		カ みどり(森)づくりを通じたまちの“らしさ”の形成	13	■尼の“みどり文化”発掘・再生・発信	◎ 新規	[新規] 養蜂プロジェクトの推進	○実施（継続）	・プロジェクトによる養蜂（尼崎スポーツの森に移設）を継続実施。	○実施（継続）	・プロジェクトによる養蜂（尼崎スポーツの森に移設）を継続実施。
			14	■エコライフスタイルの実現	◎ 新規	[新規] かやぶき民家や畑等を活用した里山暮らしを体験できるプログラムの実施	○実施（継続）	・かやぶき民家友の会による畑作業や昔遊びなどの体験プログラムを継続実施。	○実施（継続）	・かやぶき民家友の会による畑作業や昔遊びなどの体験プログラムを継続実施。
		D	森づくりの輪を広げる（森づくりに携わる人の輪の拡大や人材の育成、信頼される組織づくり）	コ 人材の育成・組織の育成	27	■小中高大学でのみどり学習の実施	◎ 新規	[新規] 大阪湾バイエリア等尼崎市外の小学生、中学・高校生を対象とした環境学習プログラムの実施	○実施（継続）	・「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方検討」において、今後の方向性等について検討中。 ・西宮市の育成センターの児童が中央緑地における環境学習に参加。
サ PR・イベント実施	29	■環境学習の場としてのPR		◎ 新規	[新規] 「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」の検討	○実施（継続）	・「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方検討」において、環境学習に関する現状把握などの調査を実施。	○実施（継続）	・「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」において、環境学習に関する現状把握などの調査およびとりまとめ。	
シ 情報の蓄積・活用の仕組みづくり	33	■植栽図の活用		◎ 新規	[新規] 植栽図を活用した苗木の生育状況の記録	○実施（継続）	・植栽図を用いた苗木の生育状況の記録を継続実施。	○実施（継続）	・植栽図を用いた苗木の生育状況の記録を継続実施。	

取組		活動項目		活動内容		実施状況・改定での対応		具体的取組（R4改定）		実施状況（R05年度）		実施状況（R06年度）	
活力ある都市の再生に向けた取組													
A	人々の暮らしや活動を盛り込んだ地域の将来像づくり	ア	地域の状況や既存の計画の把握、歴史の学習など、情報の共有・蓄積	34	■まちあるきによる地域の状況の把握	○ 実施済・継続	[継続]	森の会議の活動を通じての情報収集	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森の会議において、キャナルガイドの会によるキャナルウォークを実施。	
				35	■既存の計画や歴史の学習	○ 実施済・継続	[継続]	森の会議の活動を通じての情報収集	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森の会議において、キャナルガイドの会によるキャナルウォークを実施。	
		イ	活き活きとした人々の暮らしや活動が展開できるまちの空間づくり	37	■工場緑化の推進に向けたしくみづくり	◎ 新規	[新規]	森構想エリア内でのSDGs顕彰制度の創設	○実施（完了）	・R 4 に尼崎21世紀の森SDGs賞を創設。R 5 も継続して贈呈。	○実施（完了）	・R 4 に尼崎21世紀の森SDGs賞を創設。R 6 も継続して贈呈。	
				39	■水辺を活かしたまちづくりに関する取組の実施	○ 実施済・継続	[継続]	水質浄化施設及び北堀キャナルベースを活用した、運河クルージング、SUP体験会、オープンキャナルデイやキャナルフライデー等の開催	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された尼崎運河クルーズの実施、運河〇〇クラブによるSUP体験会、キャナルフライデー等の継続実施。 ・運河クルーズ社会実験イベントの実施。	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された尼崎運河クルーズの実施、運河〇〇クラブによるSUP体験会、サタデーキャナルフィーバー等の継続実施。 ・尼崎運河魅力アップ事業「クルーズで運河大発見！！」や「歩いて運河大発見！！」の実施。	
				41	■水質浄化施設・キャナルベースの機能強化	◎ 新規	[新規]	研究機能の強化（新たな魚礁の設置）	○実施（継続）	・県と徳島大学との共同研究の中で新たな漁礁の開発に取り組む。	○実施（継続）	・県と徳島大学との共同研究の中で新たな漁礁の開発に取り組む。	
						◎ 新規	[新規]	交流機能の強化（係留機能の強化、バリアフリー化）	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	
						◎ 新規	[新規]	耐久性の強化（水質浄化施設の修理）	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	
				42	■蓬川、尼崎運河の親水機能の強化	◎ 新規	[新規]	「川からのエントランス」周辺の活動拠点の整備（SUPの活動拠点整備）	○実施（継続）	・尼崎市民提案制度に基づき、環境学習の拠点として蓬川に門扉を設置（R5に設置済）。	○実施（継続）	・実施に向けて引き続き取り組む。	
				43	■尼崎市臨海部における干潟の創出・活用	◎ 新規	[新規]	重要湿地における干潟環境の創出の検討	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	
						◎ 新規	[新規]	干潟環境や野鳥の観察等での活用	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	
		ウ	環境配慮型の新しい暮らしや活動の提案・実践	44	■臨海地域へのアクセスの改善	◎ 新規	[新規]	大規模イベント時等のニーズに応じたアクセス方策の検討	○実施（継続）	・大規模イベント（ロハスピクニック、なんとキャナル等）の開催時にシャトルバスを配置。	○実施（継続）	・大規模イベント（ロハスピクニック、森の文化祭等）の開催時にシャトルバスを配置。	
				48	■環境にやさしい行動の実践、普及、啓発	○ 実施済・継続	[継続]	エコキッズメッセの開催	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森構想エリア内で行われている環境学習を広く知ってもらうイベント「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」を開催し、企業によるブースやワークショップを出展。	
		エ	森構想エリアの資源を生かした観光コンテンツづくり【新規】	49	■外国人観光客向けのコンテンツの検討、実施【新規】	◎ 新規	[新規]	中央緑地のかやぶき民家などでの日本の里山暮らし体験等を含む外国人観光客向けの観光コースの検討	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・外国人観光客向けの尼崎21世紀の森構想エリアPR動画を作成。	
				50	■企業、団体、来訪者など多様な利用者向けエリアツアーの展開【新規】	◎ 新規	[新規]	中央緑地や尼崎運河などを巡るコースの検討、エリアツアーイベントの実施	○実施（継続）	・福祉施設を対象に、中央緑地と北堀運河キャナルベースを巡るエリアツアーを実施。今後の展開に向けた課題を抽出するなど、今後に向けて引き続き検討中。	○実施（継続）	・R5までの実践をもとに、市内の福祉施設や私立幼稚園等に対して中央緑地の体験活動プログラムを周知。 ・北堀運河キャナルベースにおいて尼崎運河魅力アップ事業「歩いて運河大発見！！」を開催。	
B	地元住民、市民、事業者、行政などの主体がまいづくりに参加できるプログラムづくり	キ	地域内の環境を活用した生活文化の創出、発信	53	■産業遺産を活用したまちづくり	◎ 新規	[新規]	尼崎運河クルーズ社会実験イベントを実施	○実施（継続）	・北堀運河キャナルベースにおいて、尼崎運河クルーズ社会実験イベント「なんとキャナル」を開催。	○実施（継続）	・令和5年度に実施した社会実験イベントをふまえ、北堀運河キャナルベースにおいて、尼崎運河魅力アップ事業「クルーズで運河大発見！！」や「歩いて運河大発見！！」を開催。	
				54	■事業予定地や低・未利用地一時利用によるソフト面でのにぎわいづくり	◎ 新規	[新規]	民間活力の活用によるにぎわい施設の整備・活用の検討	○実施（継続）	・尼崎フェニックス事業用地および尼崎の森中央緑地の活用に関するサウンディング型市場調査を実施（R6.3実施済）。	○実施（継続）	・引き続き、民間活力の活用に向けて検討していく。	
		ク	健康・福祉、スローライフを実現する森の利活用【新規】	55	■尼崎の森中央緑地や運河を活用した健康づくりの推進	◎ 新規	[新規]	モルック等のニュースポーツを楽しめるイベント等の開催	○実施（継続）	・6/18「森の文化祭」などにおいて実施。	○実施（継続）	・6/9「森の文化祭」などにおいて実施。	
				56	■尼崎産の資源を活用した子どもの育ち支援の推進	◎ 新規	[新規]	尼崎産の魚を使った子ども食堂ネットワークの拡大	○実施（継続）	NPO法人武庫川ECO×未実施LABOにより、尼崎産の魚を尼崎市市内の子ども食堂等へ提供するフィッシュシェアリング活動が継続的に実施されている。	○実施（継続）	・NPO法人武庫川ECO-LABOにより、尼崎産の魚を尼崎市市内の子ども食堂等へ提供するフィッシュシェアリング活動が継続的に実施されている。	
		ケ	先導整備地区のまちづくりへの参画・協働	59	■フェニックス事業用地におけるまちづくりと利活用	○ 実施済・継続	[継続]	太陽光発電施設による暫定的利用	○実施（継続）	・フェニックス事業用地における暫定利用を継続実施。 ・大阪・関西万博における活用を検討中。	○実施（継続）	・フェニックス事業用地における暫定利用を継続実施。 ・大阪・関西万博に向け整備（P＆R駐車場、空飛ぶクルマ・デモフライト用暫定ポート、物販イベント施設）	

取組		活動項目		活動内容		実施状況・改定での対応	具体的取組（R4改定）		実施状況（R05年度）		実施状況（R06年度）	
既存産業の育成・高度化と新産業の創造に向けた取組												
A	森と産業が共生するまちづくり	ア	産業遺産等の資源を活用したまちづくりの推進	61	■産業まちづくりの輪を広げるための仕組みをつくる	○ 実施済・継続	[継続] 運河クルージング、オープンキャナルデーやキャナルフライデー等の開催	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された運河クルーズの実施、運河○○クラブによるSUP体験会、キャナルフライデー等の継続実施。 ・運河クルーズ社会実験イベントの実施。	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された尼崎運河クルーズの実施、運河○○クラブによるSUP体験会、サタデーキャナルフィーバー等の継続実施。 ・尼崎運河魅力アップ事業「クルーズで運河大発見！！」や「歩いて運河大発見！！」の実施。	
				62	■産業都市としてのアイデンティティを育む	○ 実施済・継続	[継続] 運河クルージング、オープンキャナルデーやキャナルフライデー等の開催	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された運河クルーズの実施、運河○○クラブによるSUP体験会、キャナルフライデー等の継続実施。 ・運河クルーズ社会実験イベントの実施。	○実施（継続）	・フィールドパビリオンに認定された尼崎運河クルーズの実施、運河○○クラブによるSUP体験会、サタデーキャナルフィーバー等の継続実施。 ・尼崎運河魅力アップ事業「クルーズで運河大発見！！」や「歩いて運河大発見！！」の実施。	
						○ 実施済・継続	[継続] 企業による環境再生の取組を子供たちに伝えるエコキッズメッセの開催	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森構想エリア内で行われている環境学習を広く知ってもらうイベント「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」を開催し、企業によるブースやワークショップを出展。	
			イ	働く人の交流の場の創出	63	■みどり（森）の中で憩い、快適に働ける産業コミュニティをつくる	◎ 新規	[新規] 企業と連携した清掃等の環境改善の取組の実施	○実施（継続）	・森の環境対策会議による中央緑地周辺における企業、市民団体の協働による清掃活動を継続実施。	○実施（継続）	・森の環境対策会議による中央緑地周辺における企業、市民団体の協働による清掃活動を継続実施。
											◎新規	・企業が情報交換を行い、連携する場「企業版森の会議」を開催。
		ウ	工場内、敷地際などの緑化の推進	64	■工場緑化について調べ、学ぶ	◎ 新規	[新規] 尼崎21世紀の森づくりに係る意見交換会の機会を活用した情報発信	○実施（継続）	・SDGs賞説明会開催時において、県民まちなみ緑化事業等の紹介を継続実施。	○実施（継続）	・SDGs賞説明会開催時において、県民まちなみ緑化事業等の紹介を継続実施。	
				65	■工場緑化推進の仕組みをつくる	◎ 新規	[新規] 工場敷地等を活用したすきま農園の推進	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	
		エ	環境の回復・改善方策の検討・実施	68	■企業連携による協働の取組の推進【新規】	◎ 新規	[新規] 増加する物流企業と連携した取り組みの推進	○実施（継続）	森構想エリア内における環境学習の推進に向けたヒアリングを実施。今後、連携した取組に向けて検討。	○実施（継続）	・物流企業が企業版森の会議や環境学習フォーラムに参加。	
						◎ 新規	[新規] 企業と連携したキャナルガイドや干潟に関する活動など尼崎運河での取組の推進	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・尼崎運河魅力アップ事業「クルーズで運河大発見!!」において、尼漁開発と連携したクルーズイベントを実施し、キャナルガイドによる船上ガイドを実施。	
B	森を活かした産業活性化の仕掛けづくり	カ	産業支援の仕組みづくり	73	■地域PRと情報発信	○ 実施済・継続	[継続] エコキッズメッセの開催	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森構想エリア内で行われている環境学習を広く知ってもらうイベント「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」を開催し、企業によるブースやワークショップを出展。	
										◎新規	・森構想エリア内で行われている環境学習を広く知ってもらうイベント「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」を開催。	

取組		活動項目		活動内容	実施状況・改定での対応	具体的取組（R4改定）		実施状況（R05年度）		実施状況（R06年度）	
機運の醸成に向けた取組											
A	構想推進のための仕掛けづくり	イ	広報（PR）計画の作成・実施	76	■ホームページの作成・公開・更新、SNSの活用	◎ 新規	[新規] 県・市・NPO法人尼崎21世紀の森等によるSNSを活用した情報発信	○実施（継続）	・各主体によるSNSを用いた情報発信を継続的に実施。	○実施（継続）	・各主体によるSNSを用いた情報発信を継続的に実施。
				79	■話題性ある発信型イベントの実施	◎ 新規	[新規] 企業（尼崎信用金庫）CMを通じた森構想エリアの情報発信	○実施（継続）	・TVCMの放映、ホームページでの動画視聴。	○実施（継続）	・TVCMの放映、ホームページでの動画視聴。
						◎ 新規	[新規] 各種学会等の誘致・開催による森構想エリアにおける取組の全国へ向けた発信	○実施（継続）	・日本植生学会の事例研修会を中央緑地で開催	○実施（継続）	・日本植生学会の事例研修会を中央緑地で開催
								◎新規	・自然共生サイトの認定および自然共生サイトとして生物多様性保全に取り組む中央緑地のPRを実施。	○実施（継続）	・自然共生サイトの認定および自然共生サイトとして生物多様性保全に取り組む中央緑地のPRを実施。
										◎新規	・映画「あまろっく」のロケ地としての森構想エリアのPR
		ウ	市民、専門家、企業等、みんなが参画するしくみづくり	80	■企業協賛のしくみづくり	○ 実施済・継続	[継続] エコキッズメッセへの企業の出展	—	・実施に向けて引き続き取り組む。	○実施（継続）	・森構想エリア内で行われている環境学習を広く知ってもらうイベント「尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～」を開催し、企業によるブースやワークショップを出展。
				83	■ブラッフォーム（意見・情報交換の場）の機能の確立と運営					◎新規	・企業が情報交換を行い、連携する場「企業版森の会議」を開始、年6回開催。
				84	■SDGs推進の視点からの参画と協働の推進【新規】	◎ 新規	[新規] SDGs推進ガイドブックを活用した企業へのPR	○実施（継続）	・表彰企業・団体の情報を追加。県ホームページにてPR。	○実施（継続）	・表彰企業・団体の情報を追加。県ホームページにてPR。
						◎ 新規	[新規] 森構想エリア内でのSDGs顕彰制度の創設	○実施（継続）	・R4に顕彰制度を創設。今後、表彰を毎年継続して実施。	○実施（継続）	・新たに4社を表彰。
B	構想の推進のための組織づくり	オ	情報蓄積・共有のしくみづくり	86	■データベースづくり	○ 実施済・継続	[継続] 中央緑地及び周辺地域の過去の写真等を収集・整理し、森構想や中央緑地のPR等に活用	○実施（継続）	・環境学習フェスティバルにおいて、パネルを作成、展示。	○実施（継続）	・尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～において、パネルを展示。
		カ	活動体（森の会議）の支援	89	■活動体（森の会議）のさらなる活性化方策の検討[新規]					◎新規	・企業が情報交換を行い、連携する場「企業版森の会議」を開始、年6回開催。